

令和 7 年度 のぞみ保育園 施設自己評価

評価対象期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

1. 施設概要

施設名	のぞみ保育園	対象年齢	0 歳～5 歳
園児数	40 名	職員数	20 名
評価資料	職員自己評価（Google フォーム）等	評価方法	施設全体の保育・運営を総合的に評価
備考	職員自己評価は設問により回答数が異なる	作成	施設長

2. 保育理念・保育方針

保育理念：子どもにある可能性を伸ばし、一人ひとりを大切に、保護者や地域の方に愛され信頼される保育園を目指す。

保育の基本姿勢：個々の性格や発達を尊重し、家庭的で安心できる環境の中で、愛情をもって関わる。保護者との信頼関係を大切に、安全な生活環境、運動・表現活動、基本的生活習慣の形成を支える。

3. 評価基準

A：十分に実践できている B：おおむね実践できている C：改善の余地がある D：重点的な改善が必要

4. 保育理念・保育方針の共有

施設評価	B
今年度の状況・成果	職員自己評価では、園の保育理念・保育方針について「かなりできている」「ほぼできている」とする回答が大半を占め、園が大切にする子ども一人ひとりへの尊重、家庭的な雰囲気、保護者との信頼関係について一定の共通理解が見られた。

5. 保育内容・環境構成

施設評価	B
今年度の状況・成果	子どもの興味・関心や発達を踏まえた保育計画、安全で清潔感のある環境づくり、遊具・用具・素材の配置などについて、おおむね肯定的な評価であった。禁止や命令を必要以上に用いず、子どもの気持ちや主体性を尊重しようとする姿勢も確認できた。

6. 安全・健康・衛生管理

施設評価	B
今年度の状況・成果	登園時の視診、体調やけがの確認、温度・湿度・換気への配慮、感染症予防、乳児の午睡時の安全確認など、日常の健康・安全管理はおおむね実施されている。乳児へのおむつ交換や午睡時の対応についても肯定的な評価が多かった。

7. 保護者支援・情報共有

施設評価	B
今年度の状況・成果	保護者との信頼関係を大切にし、相談や要望に配慮しながら対応する姿勢が見られた。苦情等については、まず丁寧に話を聞き、園長に報告・連絡・相談する意識が高い。公平な対応や差別をしない姿勢についても良好な評価であった。

8. 職員体制・職員間連携

施設評価	B
今年度の状況・成果	園運営のために職員同士が協力することや、子ども・クラス・保護者に関する必要事項を園長に報告することについては高い評価が多く、組織の一員として連携しようとする意識が確認できた。

9. 職員の資質・倫理・服務

施設評価	A
今年度の状況・成果	子どもや保護者への公平な対応、身だしなみ、園の物品の適切な使用、勤務上の連絡、守秘義務、個人情報の取り扱いなどについて、職員自己評価では高い水準の回答が多かった。保育者の人間性が子どもに与える影響を意識する姿勢も確認できた。

10. 職員研修・専門性向上

施設評価	C
今年度の状況・成果	保育者として専門知識や技能を身につけようとする意識や、子どもの安心・安全に関する危機管理への関心は、おおむね確認できた。

11. 地域・関係機関との連携

施設評価	要確認
今年度の状況・成果	園の保育理念では、保護者や地域から愛され信頼される園を目指している。

13. 行事・日常活動

施設評価	B
今年度の状況・成果	日常保育では、身体を動かす遊び、音楽、造形等を通じて、子どもがのびのびと表現し、活動を楽しむことを園の方針としている。職員自己評価からも、子どもの主体性や個性を尊重する意識が確認できた。

14. 業務改善・ICT 活用

施設評価	要確認
今年度の状況・成果	職員間の報告・連絡・相談や保護者への情報伝達を適切に行おうとする意識は確認できた。

15. 今年度の総合評価

令和7年度は、子ども一人ひとりを尊重し、家庭的で安心できる環境の中で保育を行うという園の基本姿勢について、職員間で一定の共通理解が形成されている。特に、守秘義務、公平な対応、サービス、乳児への丁寧な関わり、職員間の協力については良好な傾向が見られた。一方、環境構成や保育の振り返り、清掃・点検、保護者への日々の情報伝達、研修成果の共有などについては、個々の努力だけに依存せず、園全体の仕組みとして整備する必要がある。今後は、職員自己評価を単なる点検で終わらせず、具体的な保育改善につなげることを重視する。